



ホコリも積もれば事故となる ～年末は配線器具の掃除・チェックもお忘れなく～

1. 事故発生状況

NITE（ナイト）に通知された製品事故情報^{※1}において、配線器具^{※2}の事故は、近畿地方2府4県（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県）で、2019年度から2023年度までの5年間に合計24件ありました。

（※1）消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含みます。

（※2）コンセント、マルチタップ、延長コード及びテーブルタップをまとめて「配線器具」と記述します。

(1) 年度別 府県別 事故発生状況

表1 年度別 府県別 事故発生件数^{※3}（単位：件）

		滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	合計
事故発生年度	2019年度	2	1	2	3 [2]			8 [2]
	2020年度			1 [1]	1 [1]		1 [1]	3 [3]
	2021年度		2 [1]		2 [1]			4 [2]
	2022年度	2 [2]	1	1 [1]				4 [3]
	2023年度			1 [1]	4 [2]			5 [3]
合計		4 [2]	4 [1]	5 [3]	10 [6]	0 [0]	1 [1]	24 [13]

（※3） [] は火災件数。

(2) 府県別 被害状況

表2 府県別 被害状況^{※4} (単位：件)

		滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	合計
人的被害	軽傷			1 (1)	1 [1] (1)			2 [1] (2)
	拡大 ^{※5} 被害	4 [2]	4 [1]	3 [2]	4 [3]			15 [8]
物的被害	製品破損			1 [1]	5 [2]		1 [1]	7 [4]
合計	事故件数	4	4	5	10	0	1	24
	火災件数	[2]	[1]	[3]	[6]	[0]	[1]	[13]
	被害者数	(0)	(0)	(1)	(1)	(0)	(0)	(2)

(※4) []は火災件数、()は被害者数。物的被害(製品破損または拡大被害)があった場合でも人的被害のあったものは、人的被害に区分しています。また、人的被害(死亡・重傷・軽傷)が複数同時に起きている場合は、最も重篤な分類で事故件数をカウントし、重複カウントはしていません。

(※5) 製品本体のみの被害(製品破損)にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすこと。

2. 事故事例の概要

■テーブルタップの事故

事故発生年月 2021年4月（京都府、30歳代・女性、拡大被害）

【事故の内容】

テーブルタップに電気製品を接続して使用中、テーブルタップ及び周辺を焼損する火災が発生した。

【事故の原因】

テーブルタップの可動式電源プラグ部は、壁コンセントに接続された状態でソファ背面に押しつけられていたため、外力が加わっていた可能性が考えられた。

詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかったが、テーブルタップの可動式電源プラグのカシメ部が緩んだことにより、接触不良による異常発熱が生じ、外郭樹脂が焼損したものと推定される。

■コンセントの事故

事故発生年月 2022年1月（兵庫県、年齢・性別不明、製品破損）

【事故の内容】

コンセントに電気製品を接続して使用中、コンセントを焼損する火災が発生した。

【事故の原因】

コンセントに接続可能な最大消費電力（1500W）を超えて、複数の電気製品を接続し使用していたため、電源プラグの栓刃と刃受け金具の接続部で異常発熱し、差込口が焼損したものと推定される。

3. 配線器具の事故の再現映像について

配線器具に関する製品事故の再現映像及び静止画をご希望の場合は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像等をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+NITE ロゴ」としてください。

（本件に関するお問い合わせ先）

〒559-0034 大阪府大阪市住之江区南港北1-22-16

独立行政法人製品評価技術基盤機構 製品安全センター

担当者：製品安全広報課 宮川 七重、山崎 卓矢、岡田 大樹

電話：06-6612-2066 mail：ps@nite.go.jp